

【岡山県新見市】地域医療機関と住民との連帯推進事業

新見市哲西町では、高齢化率が46.8%と市全体の41.8%（いずれも令和2年11月末現在）を上回っており、高齢者の死亡に占める割合の高い脳血管疾患、心疾患、癌をはじめ、骨粗鬆症等生活習慣病も多い傾向にある。また、高齢者独居世帯や高齢者が高齢者を介護する老々世帯も増加している。

これらのことから、病気の早期発見・治療や食生活などの日頃の生活習慣を見直し、高齢になっても寝たきりや認知症にならないように健康寿命を延ばし、健康で心豊かに安心して生活のできる地域づくりを進めることが必要であり、そのためには幼少期から健康に対する意識付けを行うことも大切と考えられる。

については、当地域の唯一の医療機関である哲西町診療所及び哲西町歯科診療所や老人クラブほか各種地域住民の活動団体が連携して、地域全体の健康づくり意識の高揚を図り、地域住民全体で地域医療を考え推進していくものである。

事業内容については、保健医療福祉担当者連絡会議では医師、歯科医師、民生委員を含め保健医療福祉介護関係者が一堂に会し、地域住民の健康保持増進や日常生活の向上のためケース検討を重ねている。住民が立ち上がり住民が中心となり認知症カフェを開催し、その中で医師による健康講座を毎回行っている。また介護予防や閉じこもり防止など元気老人対策としてボランティアが中心となり各地区でのミニディサービス事業を住民の手で運営している。ここにも医師や看護師等あらゆる職種が参加し支えている。更にそこにも来れない山奥の住民に対しては小地区単位でNPO きらめき広場が主催し、医師による健康講座等を実施している。このように生活習慣病予防や癌の早期発見等の重要性、認知症患者やその家族がいきいきと暮らしていくために必要なこと等について住民皆で考える機会としている。更に小中学校へ医師が出向いて健康講座を行うなど、高齢者だけでなく子供を含めた全世代に対しての地域包括ケアを実施し健康づくりに取り組んでいる。「みんなで語ろう哲西の地域医療」という会を催し、そのなかで研修医や医学生が住民の前で活動報告を行っている。この会は住民に研修医の受け入れを理解してもらうのと共に、研修医にこの地域は住民に支えられていることを実感してもらう狙いもある。以前無医町であった苦い経験もふまえて住民はあたたかい激励の言葉で研修医を育て、地域医療の応援団となってくれている。実際に研修医が医師として哲西町診療所へ2名戻ってきて哲西町地域を支えてくれている。その他医学生のリピーターも多い。この会は住民と腹を割って話し合うことで、住民と一緒に協力してより良い地域医療をつくっていかうと意志統一する機会にもなっている。

以上の事業から、保健医療福祉介護が一体となり更には地域住民全体で地域医療について考え、健康づくり意識の高揚を図ることができた。さらには予防医学の充実や住民サービスの効果的提供、ADLやQOLの向上など、数多くの効果を認めている。

(写真は、R元年度の様子)

保健医療福祉担当者連絡会議



ミニディサービス



小学生への健康講座



みんなで語ろう哲西の地域医療

